

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年9月14日時点)

▶ **ウクライナ軍**が南部及び東部の露軍に対する攻撃を強化する一方、**露軍**は、各正面において**防御戦闘を実施**するとともに、各地の**軍事・非軍事施設に対する攻撃を継続**している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT8月18日)
: 死者約20万8,000人 (「ウ」軍東部作戦管区報道官6月3日)
「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT8月18日)
: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)
「ウ」市民: 死者9,511人以上、負傷者1万7,206人以上 (UNOCHA8月28日)

- 「ウ」大統領府長官は、射程300kmの**地对地ミサイル「ATACMS」**について、米国から「ウ」への**供与がまもなく認められる**だろうとの見方を提示 (9月10日)
- ミリー米統合参謀本部議長は、あと30~45日ほどで気象条件が悪化し、**戦闘の妨げとなる冬の到来**までに残された期間は、**約6週間**だと指摘 (9月10日)
- 「ウ」国防省情報総局長は、前進が困難になる**冬季においても反転攻勢作戦を継続**すると発言 (9月10日)

・「ウ」国境警備隊当局は、露軍は、交代制で派遣していた部隊を含め**ほとんど全ての兵員をベラルーシから撤収**させたと発言 (9月7日)

- 「ウ」軍報道官は、「ウ」軍が**ロボチネ**方面で約**1.5km**を解放したと発表 (9月10日)
- 「ウ」国防次官は、**ドネツク州中部オピトネ村の一部**を解放したと発表 (9月11日)
- 「ウ」国防省情報総局長は、ザポリヅジャ原発の所在する**エネルホダル市**の露旅客発行施設、露軍士官の所在拠点×2、無線通信施設に対する**無人機攻撃**を行った旨発表 (9月12日)
- 「ウ」軍南部作戦区報道官は、露軍が**クリミアから南部正面に部隊を転用**していると指摘 (9月12日)

- 「ウ」空軍報道官は、**無人機×33機**による**オデーサ州等への攻撃**があり、うち**25機を撃墜**したと発表。また、同州知事は、州内イズマイル市の港湾インフラや穀物関連設備が**被害**を受けたと発表 (9月7日)
- 「ウ」国防省情報総局長は、オデーサとクリミア半島の間の黒海上に位置する**石油・ガス掘削リグ「ボイコ・タワーズ」**を**奪還**したと発表 (9月11日)
- 「ウ」軍戦略コミュニケーション局は、**セヴァストーポリ市**所在の**露海軍アセットと港湾インフラへのミサイル攻撃に成功**したと発表。露国防省は、セヴモルザヴォド艦船修理施設に向けて発射された**「ウ」軍ミサイル×10発中、7発を迎撃したが、残りが艦船2隻に命中、修理中**と発表 (9月13日)
- 米戦争研究所 (ISW) は、攻撃を受けた艦船について、**ロブチャ級揚陸艦及びキロ級潜水艦**であった可能性を指摘 (9月14日)

- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域



国土地理院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等